

平成25年度第5回 福島県原子力発電所の廃炉に関する
安全監視協議会現地調査実施要領

平成25年 8月 6日
福島県原子力発電所の廃炉
に関する安全監視協議会

1 目的

福島第一原子力発電所1～4号機護岸付近の地下水の放射能濃度の上昇及び汚染水の海への漏洩問題等への対応状況について東京電力に説明を求めるとともに現場の状況確認を行うことを目的として、福島第一原子力発電所の現地調査を実施する。

実施に当たっては、廃炉監視に関する本協議会の活動を県民に広く周知するため、県政記者クラブ加盟各社に同行取材を案内する。

2 日時

平成25年8月6日（火）10時00分～14時45分

3 場所

福島第一原子力発電所（双葉郡大熊町・双葉町）

4 出席者

- (1) 廃炉安全監視協議会構成員（専門委員、県生活環境部、関係市町村）
- (2) 説明者 東京電力㈱

5 調査内容

(1) 調査項目

- ・海側地下水の放射能濃度の上昇及び汚染水の海への漏洩問題に対する調査及び対策の実施状況について
- ・多核種除去施設（ALPS）におけるバッチ処理タンクからの漏洩に関する原因及び再発防止対策について
- ・3号機原子炉建屋上部からの湯気の発生について
- ・原子炉注水タンクの高台タンクから復水貯蔵タンクへの変更等、炉注水に関する改善状況について

(2) 現地調査箇所

- ・1～2号機取水口間観測孔、漏洩対策（地盤改良）実施箇所
- ・2号機取水電源トレンチ漏洩箇所及び閉塞状況
（平成23年4月に高濃度汚染水が海へ漏洩した箇所）
- ・多核種除去施設バッチ処理タンク
- ・3号機原子炉建屋ガレキ撤去遠隔操作室
- ・タービン建屋内炉注水ポンプ、他

以上